

授業科目	精神看護学概論	担当教員	専任教員☆ ①	単位数	1	時期	1年次 4月～9月	DP	1
			外部講師☆ ②橋本 哲也	時間数	30				2
目的と目標	<p>人間のライフサイクルにおける心の健康の特徴を学び、心の健康問題の発生プロセスと健康保持・増進回復のための看護の役割について学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ライフサイクルにおける心の発達と健康が理解できる。</li> <li>2 人間の心と行動の関係、ストレス、適応、危機の考え方を理解できる。</li> <li>3 様々な生活の場における心の健康問題およびその発生要因が理解できる。</li> <li>4 地域生活を営む対象を支える制度システムが理解できる。</li> <li>5 看護における感情労働の代償として感情疲労があり、その症状と対処方法が理解できる。</li> <li>6 精神障害の歴史的変遷とノーマライゼーション社会の考え方が理解できる。</li> <li>7 対人関係・患者—看護師関係における看護の基礎が理解できる。</li> </ol>								
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員			
1 2 3	精神保健の考え方	(1) 精神看護学とは (2) 精神の健康とは (3) 心の危機とストレス ①危機理論とストレス理論 ②ストレスへの対処 ③ストレスとしての心的外傷(トラウマ) ④危機を乗り越え、成長していくための支援と力(レジリエンス、ストレングス、リカバリー) (4) 精神障害のとらえ方 ①疾患モデルと障害モデル			講義	専任教員 ( )			
4	心のはたらきと人格の形成	(1) 人間の心の諸活動 ①人格と気質 ②知能 ③意識と認知機能 ④感情 (2) 心のしくみと人格の発達 ①精神分析と精神力動理論 ア 自我の構造 イ 不安と防衛 ウ 自我の発達段階 ②エリクソンの漸成的発達理論 ③対象関係論 ④ボウルビーの愛着理論 ⑤コフートの自己心理学			講義	外部講師 (橋本哲也)			
5 6	関係のなかの人間	(1) システムとしての人間関係 (2) 全体としての家族 ①家族と精神保健 ②家族の関係性とコミュニケーションに関する研究 ③家族システムという考え方 ④家族のストレスと感情表出 (3) 人間と集団 ①集団と個人 ②グループの活用 ③全体としてのグループ ④組織をグループとしてみる			講義	専任教員 ( )			

回数	学習課題	内 容	方 法	担当教員
7	生活の場における精神保健	(1) 社会の動きと生活の変化 (2) 暮らしの場における精神保健 ①学校における精神保健 ②職場における精神保健 (3) 災害時の精神保健医療活動	講義	専任教員 ( )
8	医療の場における精神看護	(1) 患者の心の健康 (2) 病気によるストレス (3) 患者を支える家族の心の健康 (4) 患者・家族への精神的援助 (5) リエゾン精神看護		
9	看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス	(1) 感情労働としての看護 (2) 看護師の感情ワーク (3) 看護における共感の光と影 (4) 感情労働の代償と社会 (5) 共感疲労を予防するためのヒント ①看護師のメンタルヘルス ②看護師のセルフマネジメント		
10	精神保健医療福祉の変遷	(1) 患者処遇をめぐる精神科医療の歴史と課題 ①精神医療の変遷と処遇 ・入院医療の形態 ・入院患者の処遇と権利擁護 ・ノーマライゼーション ②精神障害と法制度 ・精神看護における法律 ・精神科領域で必要な法律と制度		
11	ケアの人間関係 (9 時間)	(1) 看護における患者－看護師関係とは		
12		(2) 患者－看護師関係の成り立ちと発展過程		
13		①ケアの前提		
14		ア 自分について知ること		
15		イ ケアする相手を知ろうとすること ウ 関係性を理解すること		
	試験 (1 時間)	②関係性をアセスメントする ア 関係のアセスメントの必要性 イ プロセスレコードの活用 ウ 異和感の対自化		
評価方法	筆記試験 100 点			
教科書 参考文献	系統看護学講座 精神看護学① 精神看護の基礎 (医学書院) 系統看護学講座 精神看護学② 精神看護の展開 (医学書院) 系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 (医学書院)			
事前準備や 受講要件等	教科書を読んで講義に臨むこと。			
事前準備や 受講要件等	①看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ②臨床心理士として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。			

授業科目	こころの 治療と看護の理解	担当教員	専任教員☆ ① 外部講師☆ ②安楽 一隆 ③橋本 哲也 ④國井 奈巳 ⑤木澤 秀人 ⑥森 敏幸	単位数	1	時期	1年次 12月～2月	DP	1
			時間数	30					
目的と目標	<p>主要な精神疾患の症状・経過・治療について学び、精神障害をもつ対象及びその家族への援助に必要な知識・技術を学ぶ。</p> <p>1 主な精神疾患の特徴と治療および看護援助について理解できる。</p> <p>2 主要な精神疾患の症状・経過・治療が理解できる。</p> <p>3 精神疾患患者におこりやすい生活障害および看護の基礎となる考え方が理解できる。</p> <p>4 地域生活を営む対象を支える支援の実際が理解できる。</p>								
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員			
1 2 3 4	精神障害の理解	<p>(1) 主な精神疾患の理解</p> <p>①器質性精神病</p> <p>②精神作用物質による精神、行動の異常</p> <p>③てんかん           ④統合失調症</p> <p>⑤気分[感情]障害</p> <p>⑥神経症、ストレス関連障害および身体表現性障害</p> <p>⑦生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群</p> <p>⑧精神発達障害</p> <p>⑨小児期、青年期に発症する行動および情緒障害</p> <p>⑩心身症           ⑪パーソナリティ障害</p> <p>⑫器質性精神障害</p> <p>(2) 精神症状と状態像の理解</p> <p>①精神症状と状態像のとらえ方</p> <p>②感情の異常</p> <p>③幻覚妄想状態</p> <p>④意欲障害が関係する行動症候群</p> <p>⑤器質性精神症候群</p> <p>(3) 身体的検査</p>			講義	外部講師 (安楽一隆)			
5	精神科での治療	<p>(1) 身体療法</p> <p>①薬物療法</p> <p>②電気けいれん療法</p> <p>(2) 精神療法</p> <p>①個人療法</p> <p>②集団精神療法</p> <p>③その他の精神療法 作業療法・芸術療法・SST</p> <p>(3) リハビリテーション療法</p>			講義				
6		<p>(4) 心理テスト</p>				外部講師 (橋本哲也)			

回数	学習課題	内 容	方 法	担当教員
7 8 9 10 11	精神障害を持つ患者と 看護の理解 (9時間)	(1) 精神科で出会う人々 ①精神を病むことと生きること ②精神症状論と状態像 ・統合失調症の看護 ・気分[感情]障害の看護 ・アルコール依存症の看護 ・パーソナリティ障害の看護 ・てんかんの看護 (2) 精神科での治療における看護 ①精神科における治療 ②薬物療法・電気けいれん療法 ③精神療法 ④環境療法・社会療法	講義	専任教員 ( )
12	精神障害を持つ患者の 看護の実際 (8時間)	(1) 病院における看護の実際 ①入院治療の目的と意味 ②治療環境をつくる ③安全をまもる ④緊急事態の対処 ⑤回復を助ける (2) 身体をケアする ①精神科における身体ケア ②身体にあらわれる心の痛み ③精神科の治療と身体ケア ④日常から気をつけておきたい身体合併症 ⑤精神科における身体のケアの実際	講義	外部講師 (國井 奈巳)
13		(3) 地域における精神看護の実際 ①精神障害をもちながら地域で暮らす人を 支える ②地域で生活するための原則 ③生活を支えるための社会資源・サービス ④地域での看護の実際	講義	外部講師 (木澤 秀人)
14		(4) リカバリーと地域生活支援の実際 ①精神疾患をもつ人のリカバリー ②地域生活支援の実際	講義	外部講師 (森敏幸)
15		③地域における早期支援の重要性と支援	GW	専任教員 ( )
	試験 (1時間)			
評価方法	筆記試験 100点 (1～5回: 40点、7～11回: 40点、12・13回: 各10点)			
教科書 参考文献	系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 (医学書院) 系統看護学講座 精神看護学① 精神看護の基礎 (医学書院) 系統看護学講座 精神看護学② 精神看護の展開 (医学書院)			
事前準備や 受講要件等	教科書を読んで講義に臨むこと。			
☆担当教員 の実務経験	①④⑤看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ②医師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ③臨床心理士として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ⑥社会福祉士・精神保健福祉士として福祉機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。			

授業科目	こころの健康を支える看護	担当教員	専任教員☆	単位数	1	時期	2年次 4月～7月	DP	1
				時間数	30				2 4
目的と目標	精神障害をもつ対象及びその家族への看護実践に必要な科学的思考プロセスを学ぶ。 1 患者－看護師関係の意義と成立・発展過程およびその方法が理解できる。 2 精神障害を持つ対象に対する看護の展開方法が理解できる。								
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員			
1 2 3	患者－看護師関係形成のためのコミュニケーション	(1) ケアの原則 ①人としての尊厳を尊重する ②互いの境界を守る ③応答性を保つ ④現実検討する (2) 患者－看護師関係における感情体験 ①転移・逆転移 ②感情の器になる ③「肯定的感情」と「否定的感情」にまつわる誤解 (3) 関係の視点からみた困難事例 ①攻撃される ②拒否される ③ふりまわされる			講義	専任教員 ( )			
4 5 6 7	精神看護の展開方法	(1) 幻覚・妄想のある患者への対応 ①状態に合わせたコミュニケーション ②治療的コミュニケーション			演習 GW 臨床判断	専任教員 ( )			
8 9 10 11 12 13 14 15	精神障害を持つ患者への看護 (15時間)  試験 (1時間)	(1) 統合失調症患者の看護過程の展開 ①事例のアセスメント ②ストレングスモデル ③看護計画立案			講義 演習	専任教員 ( )			
評価方法	筆記試験 80点 (1～7回：25点、8～15回：55点) レポート課題 (看護過程) 20点 *再試験の場合、筆記試験 100点分で評価する。								
教科書 参考文献	系統看護学講座 精神看護学① 精神看護の基礎 (医学書院) 系統看護学講座 精神看護学② 精神看護の展開 (医学書院) ストレングスからみた精神看護過程 (医学書院)								
事前準備や 受講要件等	教科書を読んで講義に臨むこと。								
☆担当教員の 実務経験	看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。								

